



山田ひとき

平群町議会議員 ◆ 後援会会報

発行/山田ひとき後援会
 広報部
 令和元年8月20日発行
 〒636-0932
 奈良県生駒郡平群町西宮2-6-21
 TEL0745-45-4845 FAX0745-45-4727
 メールアドレス hitoki@m4.ken.ne.jp



新たな平群!

こんにちは、山田ひときです。
 4月の町議会議員選挙では、これまで以上の大きな得票、ご支援を賜り5期目の当選をさせて頂く事ができました。

また、昨年12月の町長選挙でも、たくさんの方々からの御支持を頂きながら御期待に応えられず、残念な結果に終わり改めてお詫び申し上げます。

町長選挙の結果を私なりに受け止めた時、平群町政から距離をとること、政治活動を休止することも考え

ましたが、応援頂いた、たくさんの方々から『議員としてまだまだ平群町の為に頑張ることも、山田君の責任の取り方のひとつでは・・・』といった温かいお言葉、叱咤激励を頂き、これまで議員として取り組んできたこと等、公約実現のため、もう一度新たに直すことを決意し、再度、町議会議員選挙に立候補するに至ったという経緯でありました。

山田ひときの略歴

文化団体“やまと四季探訪”主宰

- ◇昭和36年4月16日平群町に生まれる
- ◇平群西小卒業 ◇平群中学校卒業
- ◇県立高田高等学校卒業
- ◇摂南大学 建築学科卒業
- ◇一級建築士
- ◇スキューバダイビング資格取得

- 平群町議会 議長
- 総務建設委員会 委員
- 財政検討特別委員会 委員
- 下水道事業特別委員会 委員
- 駅周辺整備事業特別委員会 委員
- 佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)
奈良県後援会平群支部長



去る、5月8日の議長選挙にあたって、町長選挙で戦った西脇町長とは、対峙するためにも『議長になるべきでない』『議長を辞退するべき』という批判の声もありましたが、町長に寄り添い迎合するというのではなく、また違った立場として対話、議論を重ね、時には、町長に対し進言、助言、提言も行いながら町の未来を造っていく一助になりたい。議会代表の議長として

4度目の議長に就任させて頂き



自分なりに頑張っていく方法もあるのでは、との考えや若手同僚議員からの熱心な力強い後押し、思いを受け議長に就任させて頂く決意をいたしました。

私たちの平群町は、未だなお厳しい財政状況の中ではありますが、夢ある明るい未来を切り開く為にも、若い世代の定住促進等による人口増や住民税等の税収増対策に積極的に取り組んでいかなければなりません。

住民の声を原点に、住民全代が誇れ、愛せるまち、若い世代にとっても魅力あるまちとなるよう、議会及び行政が一丸となって乗り越えて行ける一助となれる様『粉骨砕身』取り組んでまいります。

皆様方のご理解と、ご指導お力添え賜りますようお願い申し上げます。



駅周辺整備事業 記念碑除幕式
= 7月14日

危機的財政状況を打破するためにも

昨年8月20日発行の第31号山田ひとき後援会会報の「未だ厳しい平群町財政」の中で、町財政が、10億5千万円もの赤字になる可能性が出てきた為、苦肉の策として駅周事業地内の町所有地を区画整理組合へ売却し、文化センター建設用地として新たに、補助金と起債（借金・ローン）の有利な制度を利用して買い戻すという超ウルトラCの手法を使って、目前に迫る厳しい財政状況を回避し、起債（借金・ローン）として財政負担を後年度へ先送りしたという状況を掲載、報告しました。

その後の状況として、本年2月5日の議員全員協議会（私は失職中）の中で町より新たな説明があ

り、駅周辺整備事業にかかる清算交付金（町有地売却金）の減額修正による歳入減1億6千万円や文化センター用地購入にかかる鑑定額の確定による単価差分の増加に伴う2700万円の歳出増及び、平成29年10月策定の第2次財政健全化計画に伴う町有地売却が案の定進む見込みがたらず、このままの状況が続けば令和3年度末には4億7千万円、令和4年度末には約7億円、令和5年度末には10億円近い赤字財政状況となる財政シミュレーションが公表されました。

平群町の財政規模から見た時、6億6千万円の赤字で早期健全化団体（イエロー団体）、8億8千万円の赤字で財政再生団体（赤字再建団体）となつてしまっています。

しかしそのような状況の中でも、まだそのうえ不確定ながら駅周事業の最終の為の保留地が予定の金額で売却できない場合の実売却金額との差額約2億円を平群町が債務保証しなければならぬ可能性が大きく、町財政で負担する必要も生ずる事が現実として十分予測されます。

そうなると、令和3年には早期健全化団体（イエロー団体）、令和4年には財政再生団体（赤字再建団体）になつてしまう可能性があり、平群町はこの様な状況まで追い込まれているのが現状です。

この危機的難局を打破する為には、議会及び行政が一丸となり、国や県との連携を密に打開策を検討し、乗り越えて行かなければならない状況です。



総代・自治会長会議 = 5月11日



駅周辺整備事業街びらき記念式典 = 7月14日



人権・命の尊さへの町民集会 = 7月11日



人権教育推進協議会総会 = 5月24日

行事・集会



国民平和行進 = 6月28日



町子連 子ども会カーニバル = 6月16日



小地域ネットワーク連絡協議会ふれあい会 = 6月29日



交通安全協会平群町分会総会 = 6月21日